



事務事業名	合併協定書に関する進捗管理事業	事務事業No.	60301000251	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村合併に伴う合併協定項目は、平成17年1月の合併協定調印式において取り交わされた。</li> <li>・建設計画の重点事業以外の協定項目については、合併後順次統一や廃止など各担当部門において調整がなされている。</li> <li>・その後の法改正や、現状に即し改善等がなされており、合併時の協定内容が現状にあわないものも見受けられる。</li> <li>・震災の影響を考慮し、建設計画の期間が10か年延長された。</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
建設計画の重点事業については、建設計画の期間内（H17～H37）での実施が財政上有利であることから、計画的な事業実施が求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目			
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)		
	<table border="1"> <tr> <td>結びついている</td> <td>合併協定項目の進捗状況を把握し、事業遂行を促進することは、事業の進捗管理及び事務事業の効率化を図ることにつながる。また、合併の効果や課題を把握することで各事務事業実施にあたっての改善につながる。</td> </tr> </table>	結びついている	合併協定項目の進捗状況を把握し、事業遂行を促進することは、事業の進捗管理及び事務事業の効率化を図ることにつながる。また、合併の効果や課題を把握することで各事務事業実施にあたっての改善につながる。
	結びついている	合併協定項目の進捗状況を把握し、事業遂行を促進することは、事業の進捗管理及び事務事業の効率化を図ることにつながる。また、合併の効果や課題を把握することで各事務事業実施にあたっての改善につながる。	
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)		
<table border="1"> <tr> <td>妥当である</td> <td>市町村合併時に取り交わされた項目についての進捗管理であるため妥当である。</td> </tr> </table>	妥当である	市町村合併時に取り交わされた項目についての進捗管理であるため妥当である。	
妥当である	市町村合併時に取り交わされた項目についての進捗管理であるため妥当である。		
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)		
	<table border="1"> <tr> <td>向上余地がある</td> <td>未着手の事業の調整及び重点事業の着手</td> </tr> </table>	向上余地がある	未着手の事業の調整及び重点事業の着手
	向上余地がある	未着手の事業の調整及び重点事業の着手	
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)		
<table border="1"> <tr> <td>影響有</td> <td>未調整事項や未着手の事業について調整しなければならない。</td> </tr> </table>	影響有	未調整事項や未着手の事業について調整しなければならない。	
影響有	未調整事項や未着手の事業について調整しなければならない。		
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名		
	<table border="1"> <tr> <td>連携ができる</td> <td>建設計画の事業推進については、総合計画の進捗管理で対応することができる。合併の効果や課題把握、協定項目の状況については本事業で対応する。</td> </tr> </table>	連携ができる	建設計画の事業推進については、総合計画の進捗管理で対応することができる。合併の効果や課題把握、協定項目の状況については本事業で対応する。
	連携ができる	建設計画の事業推進については、総合計画の進捗管理で対応することができる。合併の効果や課題把握、協定項目の状況については本事業で対応する。	
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)		
<table border="1"> <tr> <td>削減余地がない</td> <td>事業費を計上していない。最低限の人員で対応している事から、余地がない。年度により事務量が変化するので、コントロールする事が難しい。</td> </tr> </table>	削減余地がない	事業費を計上していない。最低限の人員で対応している事から、余地がない。年度により事務量が変化するので、コントロールする事が難しい。	
削減余地がない	事業費を計上していない。最低限の人員で対応している事から、余地がない。年度により事務量が変化するので、コントロールする事が難しい。		
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)		
	<table border="1"> <tr> <td>公正・公平である</td> <td>市町村合併に伴う調整事務であるので、受益者負担は無い。</td> </tr> </table>	公正・公平である	市町村合併に伴う調整事務であるので、受益者負担は無い。
公正・公平である	市町村合併に伴う調整事務であるので、受益者負担は無い。		

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	・新市建設計画に位置付けられている重点事業(合併特例債活用事業)については、合併時の重点事業であり早期の事業着手や見直し等が必要である。 ・新庁舎建設について検討を進める。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
□ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 → □ 現状維持		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
合併後15年が経過していることもあり、当初の新市建設計画に掲げていた事業の見直しが必要と思われる。桜川市に本当に必要な事業であるかどうかや、実現可能または実現すべき事業などを考慮して、計画的に新市建設計画を見直ししていく。		成果優先度評価結果 ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)			
課長確認後の評価 <table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</td> </tr> </table>	B	A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <table border="1"> <tr> <td>□</td> </tr> </table>	□
B	A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出			
□				